

平成17年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成17年4月26日		記入者	内線	5332
部名	農業委員会事務局	課名		課長名	山崎 有正
事務事業名	農業のうごき発行事業				
予算上の事務事業名	農業のうごき発行事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		31530		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします				
基本施策名	第5節 都市農業の振興				事業開始年度
施策名	第3施策 農地の保全と農業基盤の整備				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
「農業のうごき」発行に関する規定					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 啓発・広報・イベント ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
市農政その他の農業情勢、農業経営、農業の技術指導者等に関する啓発、周知を行うため農家及び行政関係機関に配付している。			農家、農業関係機関 4,300人		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
5月15日号、7月15日号、10月15日号、1月1日号 1回につき 4,300部発行					
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	668	611	593	678	678
一般財源	668	611	593	678	678
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源		0		0	0
人件費の合計	1,024	985	993	993	993
事業コスト合計(a)	1,692	1,596	1,586	1,671	1,671
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	農業のうごき発行事業			対象名称 (単位)	農家・農業関係機関 (配付枚数)
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	668	611	593	678	678
対象数	17,000	16,960	16,920	16,880	16,840
単位あたり経費(円)	39	36	35	40	40
前年度比		0.92	0.97	1.15	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	発行部数（枚）		指標式と指標の説明 1回当たりの印刷部数×4回		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	17,200.0	17,200.0	17,200.0		
目標	17,200.0	17,200.0	17,200.0	17,200.0	17,200.0
目標達成度	1.00	1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	配付部数（枚）		指標式と指標の説明 1回当たりの配付部数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	17200.0	17200.0	17200.0		
目標	17000.0	16960.0	16920.0	16880.0	16840.0
目標達成度	101.2	101.4	101.7		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
			・適正な情報提供に心がけること。 ・読みやすい紙面づくりに心がけること。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			